終わりなき図書館ジャーニー vol. 56

湧別町湧別図書館

オホーツク地方の湧別（ゆうべつ）町は平成の大合併の中で歴史的に珍しい自治体。サロマ湖北西部に接しています。

（旧）湧別村というひとつの村から、1910（明治 43）年に旧下湧別村と旧上湧別村（のちの湧別町と上湧別町）に分割。隣町として身近な関係だった旧上湧別町と旧湧別町は、2009 年（平成 21）年に合併しました。つまり元々一つの町が分かれ、また一つの町になったのが湧別町です。合併当時、海側の旧湧別町 4814 人、内陸の上湧別町 5462 人で合計 10276 人でした。この人口の割合は現在もあまり変わっていないようです。ちなみに 2026 年現在は全体で 7700 人ほど。

札幌から湧別へ行くには、空路ならオホーツク紋別空港まで飛び、紋別からバスで行くことができますと言いたいのですが、オホーツク紋別空港は新千歳便が既に廃止。羽田便 1 日 1 往復だけとなっています。一度羽田に飛んで羽田発 10：35 でオホーツク紋別 12:20 着という技もありますが・・

紋別市についてはいずれコラムで書きます。

陸路は JR で札幌から遠軽まで行き、そこからバスという方法です。札幌から旭川までは特急も頻繁にありますが、旭川から遠軽の石北本線の本数がとにかく少なく、124 キロほど距離があります。例えば旭川を 10 時ぐらいに出発して遠軽着は 13 時ぐらいに着きます。湧別へ行くにはさらに遠軽からバスで 30 分ほど移動する必要があります。1 日がかりの行程ですが、車だったら札幌から湧別まで４時間ほど。車は私にとってロケットのようなスピードに感じてなりません。

1989（平成元）年まで遠軽から中湧別、紋別、興部、西興部、下川を経由して名寄まで名寄本線が走り、その支線として中湧別から湧別まで営業していました。私の記憶では 1 日２往復ぐらいだったかと。1987（昭和 62）年に廃止になった中湧別から網走まで湧網線が運行していた頃、中湧別から紋別方面へ向かう場合、乗換えないといけないので当時の鉄道の旅好きには定番だったはず。ちなみに湧網線は遠軽まで運行していました。北海道でもし１線復活可能なら湧網線を断然推薦します。当時の沿線を現在バスで繋がっていないだけでなく、車窓の景色が左右色々な湖やオホーツク海が見えて美しい。あいにく乗車できず廃止となったので、今では当時の地図や写真集だけで旅をしています。

旧上湧別は合併の際に中湧別図書館と館名が変わり、湧別図書館の２館が町にあります。

遠軽からのバスで「中湧別文化センタートム（TOM：チューリップ/オホーツク/マンガ・ミュージアムの略称が町民公募の愛称）」下車。なぜマンガなのか？実はモンキーパンチ、いがらしゆみこ、里中満智子、石ノ森章太郎氏などの原画約 500 点を収蔵しており、そのうち数十点を展示しています。特に、いがらしゆみこ「キャンディ・キャンディ」の工程が実際の作画で分かるように展示しています。

この文化センターの建物は、古代ギリシャ・ローマの神殿建築のような柱が列をなして印象的です。この施設の中に中湧別図書館が入っています。図書館の向かいには中湧別駅記念館があり、当時の駅舎だけでなく国鉄時代の車両が展示されています。この駅には廃止直後に訪れているので思い出深いです。きっと鉄道の興味ない人でも写真撮りたくなるスポットかもしれません。

さらにバスで 8 分、湧別庁舎下車して 5 分ほど歩くと湧別図書館があります。２館の距離 4.5km ほど。旧名寄本線支線沿線に図書館があるということです。いずれの図書館も平成以降に建てられた施設です。それほど大きな町ではないにも関わらず、合併当時も現在もどちらかを閉館するという議論は私の耳には入ってきません。興味深いのは 2025 年に行われた町長選です。焦点は町役場の新庁舎建設の是非を問う選挙結果で、この工事は必要ないと主張とする新人が当選して、この事業は凍結しました。道など町のインフラ整備を優先すべきとしたのです。もちろん図書館を１館にするという議論もありません。ちなみに上湧別庁舎が選挙当時築 38 年で耐震化もされているので、こちらを活用すると結論づけています。

この２つの図書館の規模は中湧別の方が大きく利用者も多いのですが、毎日定期便があり、閉架書庫をほとんど活用せずなるべく開架を原則にしているようです。書架や館内の雰囲気から湧別は地域資料に、中湧別は貸し出しに重点置いているように感じます。さらに移動図書館も運行しており、7700 人ほどの人口に対して図書館事業はとても手厚く嬉しい限りです。毎年便覧も公開しており、合併してもこのような取り組みもあると学びました。

さて湧別といえばチューリップ！

総面積 12.5 ヘクタールの広大な花畑に約 200 品種 70 万本のチューリップが咲き誇る「かみゆうべつチューリップ公園」は毎年 5 月が見頃。初めて訪問した 2023 年は夕方だったので暗くてほとんど見られず。2025 年 6 月紋別から遠軽への移動中、バスの車窓からたくさん咲いているチューリップを眺めることができました。下車して写真撮りたかったけど、それだけで午後のスケジュールを全て失うので断念。でもまぶたにはあの色彩がしっかり残っています。

2023 年 6 月訪問

加藤　重男